

2017年5月第1回理事会議事録

日 時：2017年5月13日（土）14：00～17：30

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・石川日出志・近藤英夫・岡内三眞・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人・菊池誠一・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・佐藤宏之・篠原和大・杉井 健・都築恵美子・新納 泉・橋本裕行・長瀬 衛、監事：唐澤至朗・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：大島直行・瓦吹 堅・関根達人・堀内秀樹・宮本一夫・矢島國雄

進 行：佐藤宏之

議 長：谷川章雄

佐藤理事から、本日の出席者は20名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

佐藤理事から、海外のJ. E. Kidder, Jr. 会員が2014年11月30日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第402号 2016年度の事業報告について

佐藤理事から、総務会を始め、陵墓担当や各常置委員会・特別委員会及び小委員会など各事業における2016年度事業報告の提示があった。第83回総会においては、この事業報告を元にそれぞれの事業の担当理事から説明が行われる旨の説明があり、各理事に確認が求められた。

議案第403号 2016年度決算について

都築理事から、①2016年度決算は、理事会・各委員会の努力によって旅費交通費や外注費の支出が抑えられた結果、翌年度への繰越収支差額が見込額より増額になった。②平成28年熊本地震の募金額は566,748円であり、特別会計として収支計算書を作成したとの説明があった。

続けて吉田監事並びに唐澤監事から、5月10日（水）に監査を行い、2016年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告があった。講評として、総会の報告事項・審議事項の区分、総会の進行についての指摘があり、検討が求められた。

審議の結果、監事からの指摘事項については、日本考古学協会定款及び規則と照会した上で継続して審議を行うこととし、2016年度決算及び監査報告については原案通り承認した。

議案第404号 2017年度予算案について

都築理事並びに橋本理事から、①2016年度決算を受けて、繰越収支差額を確定額とした結果、当期繰越収支差額が生じ、3月理事会議案第395号で承認された2017年度予算を修

正した。②特別会計（平成28年熊本地震募金）について、今年度も引き続き募金を行うことから、予算書に今期の募金収入予算額を加え、2016年度の募金収入額は前期繰越収支差額に記載したとの説明があり、原案通り承認した。

議案第405号 著作権規定（案）について

石川副会長から、著作権規定（案）については、第82回総会における会員からの意見を受け、2016年12月会報及び2017年3月会報で修正案を掲載し、会員に理解を求めてきた。その後、法律専門家の会員から文言について指摘があり、一部文言修正及び整理を行ったとの説明があり、修正した規定案が提示された。第83回総会においては、前総会からの修正箇所を明示して説明した上で、総会後の理事会で制定したいとの説明があり、承認した。

議案第406号 旅費規定（案）について

石川副会長から、1月理事会での検討後、修正した旅費規定（案）の提示があり、①国内旅費や国外旅費の支給基準等の細則については旅費支給要綱で定めることとした。②交通費・宿泊料のほか、国外旅費にも対応できるよう日当を新たに設けたとの説明があった。審議の結果、一部修正の上、原案を承認した。

議案第407号 文書管理規定（案）・情報公開内規（案）について

小笠原理事から、文書管理規定（案）及び情報公開内規（案）について、文言整理を行ったとの説明があり、修正案の提示があった。審議の結果、一部修正の上、原案を承認した。

議案第408号 日本考古学協会規則の一部改正について

石川副会長から、旅費規定の整備や第83回総会で災害対応委員会が承認された場合に伴う日本考古学協会規則の一部改正の提示があり、一部文言修正の上、改正を承認した。

議案第409号 英文機関誌編集委員会委員の選考について

佐々木憲一理事から、今期で近藤英夫委員・西藤清秀委員2名が任期満了に伴い退任するため、新たに会員のGina Lee BARNES氏、会員外からEnrico Crema氏、Stephen Shennan氏、Andy Jones氏、Peter Jordan氏、Sander van der Leeuw氏、Mark Hudson氏、Graeme Barker氏の8名を委員として推薦したいとの説明があり、原案通り承認した。

議案第410号 機関誌『日本考古学』編集委員会委員の選考について

篠原理事から、今期で松本太郎委員・山本孝文委員2名が任期満了に伴い退任するため、新たに笹生 衛会員、寺前直人会員の2名を委員として推薦したいとの説明があり、原案通り承認した。

議案第411号 国際交流委員会委員の選考について

小澤理事から、今期で田尾誠敏委員・高久健二委員2名が任期満了に伴い退任するため、新たに千本真生会員、山本孝文会員の2名を委員として推薦したいとの説明があり、原案

通り承認した。

議案第412号 沼津市「高尾山古墳」の保存問題について

篠原理事から、沼津市高尾山古墳の保存問題の現況についての報告があり、会員から、第83回総会において高尾山古墳の重要性と保護の取り組みについて紹介したいとの要望があるとの説明があった。審議の結果、実行委員会の了承を得た上で、実施を承認した。

議案第413号 熊本市「文化財災害復旧支援金」等のチラシ配布依頼について

杉井理事から、熊本市から、第83回総会における平成28年熊本地震対策特別委員会のセッションにおいて、「熊本市文化財復旧支援金」及び熊本市現代美術館における熊本市の被災文化財についての展示のチラシを配布したいとの説明があり、原案通り承認した。

議案第414号 退会の承認について

久保田理事から、秋田県の*会員、茨城県の*会員、東京都の*会員、大阪府の*会員の4名から2016年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。なお、未納会費のある会員については、併せて滞納会費の納入を求めることとする。また、福島県の*会員、東京都の*会員、神奈川県内の*会員、大阪府の*会員、福岡県の*会員の5名からは2017年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。未納会費のある会員から提出された2017年度退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

議案第415号 賛助会員に関する規定・内規の施行について

石川副会長から、2016年12月会報で会員から意見を求めた賛助会員に関する規定（案）及び内規（案）について施行し、第83回総会を経て、2017年8月会報に掲載して賛助会員の募集を開始したい、との説明があり、承認した。

報告第551号 第83回総会について

小澤理事から、「総会実施要項」に基づき、日程並びに理事の役割分担の確認があり、了承した。

報告第552号 高校生ポスターセッションについて

岡山理事から、第83回総会における高校生ポスターセッションは9件の発表予定があるとの説明があり、各理事に記念品の書籍の寄贈が求められた。また、審査の方法等について確認があり、了承した。

報告第553号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

小澤理事から、4月16日（日）に小委員会を開催し、協会設立70周年記念事業の各事業予定概要及び進捗状況についての説明があった。①学術刊行物『日本考古学レビュー2018』（仮）については企画書を作成し、出版社と交渉を行う予定である。②公開講演会については、主催・共催等の体裁を問わず、各会場において柔軟に対応し交渉する。③近年の日

本考古学及び協会の活動や現状についての総括『日本考古学と日本考古学協会 1999～2018年』（仮）については、機関誌『日本考古学』の特別号として刊行するとの説明があり、了承した。

報告第554号 「これからのアイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル」の報告について

佐藤理事から、メール審議で理事に確認いただいた「これからのアイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル」の最終報告書がまとまり、内閣府アイヌ政策推進会議の政策推進作業部に提出した。本ラウンドテーブルは報告書の提言の検討を行うため、今後も継続することとなったとの報告があり、了承した。

報告第555号 災害対応委員会規定について

佐藤理事から、3月理事会議案第397号で承認された災害対応委員会規定（案）について、他の常置委員会の規定を参考に一部修正を行ったとの説明があり、制定・施行については第83回総会における審議を経て決定する。また、第83回総会で委員会設置が承認された場合の災害対応委員会委員案の提示があり、原案どおり了承した。

報告第556号 英文機関誌編集委員会報告

佐々木憲一理事から、①『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 4, No. 2を刊行した。②海外の学会での広報活動に合わせて『JJA』Vol. 5, No. 1を刊行する予定である。③第83回総会でセッションを行う準備を進めているとの説明があり、了承した。

報告第557号 研究環境検討委員会報告

篠原理事から、研究環境検討委員会では、埋蔵文化財保護行政に関わる職員の採用動向に関するアンケートを実施するにあたり、埋蔵文化財保護対策委員会の協力を仰いで回答を求めることになったとの説明があった。埋蔵文化財保護対策委員会委員である近藤副会長から、会員以外にも広く回答を依頼する確認があり、了承した。

報告第558号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

小笠原理事から、4月15日（土）に幹事会を開催し、①筑紫野市前畑遺跡について、保存に関する要望書を3月31日付で提出した。②長崎市小島養生所跡・医学校跡について、保存活動があり、動向を注視していく。③福山市鞆の浦港雁木の復元工事について、状況を注視する必要があるとの報告があり、了承した。

報告第559号 会員資格の喪失について

久保田理事から、2014年度～2016年度会費30,000円の滞納により下記の5名が会員資格を喪失したとの報告があり、了承した。なお、滞納会費の督促については継続する。

（東京都）、（青森県）、*（新潟県）、*（東京都）、*（東京都）

報告第560号 個人情報保護法（法令）の改正について

近藤副会長から、個人情報保護法の改正にあたり、名簿の適切な管理が求められることとなり、会員にも注意喚起を行うことが説明され、了承した。

報告第561号 2017年度新入会員について

久保田理事から、2017年度新入会員資格基準該当者に対し、会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2017年度新入会員の入会資格審査は、申込み総数55名、うち1名は申込みを辞退し、3名が資格基準に該当せず、51名が内定者となり、5月27日の第83回総会にて承認を受けるかたちとなったことが報告され、了承した。

報告第562号 後援依頼について

長瀬常務理事から、青森県南部町教育委員会から「第4回南部学研究会」の後援依頼があり、名義の使用を承認するとの報告があり、了承した。

その他

(1) 熊本地震に伴う「会費の免除について」

長瀬事務局長から、免除申請期間後に、2名の申請があり、提出書類も整っていることから申請を受理したとの報告があった。

以 上